

Weekly Report

事務局: 460-0003

名古屋市中区錦1-13-19
名錦ビル7FT E L: 052-211-3803
F A X: 052-211-2623
M A I L: 2760.nagoya@mizuho-rc.jp
U R L: <http://www.mizuho-rc.jp/>創立: 1980年(昭和55年)1月10日
会長: 亀井直人
幹事: 島山政明
クラブ委員長: 杉山裕一
例会日: 毎週木曜日 PM12:30~
会場: ヒルトン名古屋2025-26年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長のテーマ
「瑞穂ロータリーを理解し、そして楽しもう!」2025-26年度
国際ロータリーのテーマ
よいことのために手を取りあおう

第2158回例会

～職業奉仕月間～

クラブテーマ:「熱田の杜・友愛・気品」

2026年1月29日(木) 晴 第22回

司会: 加藤直大 会場委員

斉唱: 「我等の生業」

ゲスト: 米山獎学生 Hettiarachchi Minoli Raveeshaさん

会長挨拶

亀井直人会長

皆さん、こんにちは。皆さん、日常の中で「大丈夫です」と何気なく口にしていると思います。しかし、この本来の姿をご存じでしょうか。「大丈夫」の語源は、中国の古典『孟子』にまで遡ることができます。孟子は理想の人物像を語る際、「大丈夫」という言葉を使いました。ここでいう「大」とは大きい、偉大であること。「丈夫」とはもともと成人した立派な男子を意味し、この二つが合わさることで、「志を高く持ち、義を守り、逆境に屈しない徳の高い人物」という、いわば理想の大を指していたそうです。

孟子は、力強さよりも精神の成熟を重んじ、「金持ちであることや身分の高さにおごらず、貧しく身分の低くさにも屈せず、いかなる権力にも魂を売らない者こそ大丈夫である」と述べています。つまり、外形ではなく、中身の強さと正しい筋道を守り通すことが人の価値を決めるという教えです。古代の思想家たちは、道徳と勇気を兼ね備えた人物を「大丈夫」と呼び、それは人としての目標でもありました。

この言葉が日本に伝わると、武士道や儒学の精神と結びつき、「立派な男子」「度量の大きな人物」といった意味で使われるようになります。江戸時代の文献を開くと「あの若侍はなかなかの大丈夫だ」といった記述が見られ、凛とした品格を評価する言葉として定着していました。

ところが、明治以降になると「大丈夫」は次第に日常の言葉へ変化し、近代の日本語の流れの中で「しっかりとしている」「問題がない」といった現在の意味へと変化していきます。人に向けられた尊称から、状況に対する肯定や安心を表す言葉へと、時代の変化とともにその役割が柔らかくなっています。現代の「大丈夫?」という問いかけには、相手を気遣う優しさが宿り、「大丈夫です」という応答には、自分の状態を整えようとする意志がじみます。

こうして考えてみると、「大丈夫」という言葉は、実は数千年の歴史を背負ったエリートワードだったわけですが、もし孟子が現代に来る事が出来たらどう思うか聞いてみたいものです。

なんでも時代に合わせて変化できないものは消えていく運命です。「大丈夫」とても便利な言葉です。外国人もよく使います。この先、大丈夫がどのように変化していくか楽しみです。ところで今日の会長挨拶は大丈夫でしたでしょうか。



出席報告

今川知也 出席委員長

会員69名 出席56名 (出席計算人数58名)

出席率 86.15%

ニコボックス

今川知也 ニコボックス委員長

- 誕生日に綺麗なお花をありがとうございました。 野崎 洋二さん
- 家内誕生日にお花ありがとうございました。 渡辺喜代彦さん
- 今日は監査報告をさせていただきます。 宮崎 信次さん
- 3月に開催される愛知県オープンの協賛を全ていただきました。 泉 憲一さん
- 寒い日が続いております。ぎふ美濃のクローズも続いてます。 内田 久利さん
- 松波さん、湯澤信雄さん、鈴木健司さん先日はお疲れ様でした! 無事に帰還されてよかったです。 山口 哲司さん
- 先日敬老バスが届きました。2月からは地下鉄で来ようかな。 松田 浩孝さん
- 神田伯山さんの続き読みの公演に当選して今日から4日間、 毎晩講談を楽しみます。 本多 誠之さん
- 先日の野球部新年会に多数の方々のご参加ありがとうございました。 今年も連勝続けましょう!! 鈴木 淑久さん
- 先日までベトナム出張行ってました。疲れました。 杉江 建亮さん
- 野球部新年会お疲れ様でした。 長野 義明さん
- 野球部新年会楽しかったです。 今川 知也さん

幹事報告

島山政明 幹事

- 1/29(木) 第2回クラブ奉仕委員会13:40~ヒルトン4F「美杉の間」
- 2/4(水) 4RC合同例会 ホスト:名古屋東南RC
場所:名古屋マリオットアソシアホテル 16F「アイリス」
受付担当集合・受付17:00~ 例会18:00~20:00
- 2/5(木) 例会変更により休会
- 2/12(木) 例会 12:30~ヒルトン4F「竹園の間」
第8回理事会 13:40~ヒルトン4F「美杉の間」
- 新会員 押村さんの会員名簿手帳シールを、メールボックスへ配布しました。

奨学金授与

Hettiarachchi Minoli Raveeshaさん



委員会・同好会報告

ダイビング同好会

2月3日火曜日に、午後6時よりダイビング同好会の新年会を行わせていただきます。ご出席の方、どうぞよろしくお願ひします。

出席委員会

今までコロナ禍以降、メーキャップの免除が続いておりましたが、出席率が低下傾向にあるということで、出席率の改善を図ることを目的に、1月下旬から、3回連続で欠席した会員に次回の出席を促す、3か月毎の出席率が30%以下の会員に出席率を促す連絡をするということを実施させていただきました。これに伴って今現在、メーキャップサインができるところがいくつかありますが、非常に昔と比べると数が少なく、もしメーキャップをしたいという人がいらっしゃいましたら、事務局または私の方に聞いていただければ、情報をお伝えしますので、言ってください。一番いい方法は愛知県友愛ロータリーというのがありますし、そこと電子でメーキャップできるものですから、携帯電話とかパソコンからやることができます。クレジットカード決済で1,000円の費用がかかりますが、メールでメーキャップの証明書が来ますので、それをまたメール・LINEで事務局に送ってもらえば出席扱いとなります。ぜひそういうことを活用して、3回連続欠席にならないように皆さんご協力をお願いします。

カラオケ同好会

コロナ禍以降、休んでおりましたが、リスタートしたいと思っております。3月5日夜行いますが、詳細はまた後日皆さんの方にご案内したいと思いますので、3月5日の夜空けておいていただけたらなと思います。よろしくお願ひします。

第4回クラブフォーラム(中間決算と組織)

中間決算報告（案） 収入の部：湯澤勇生 会計

2025-2026年度中間決算に関してですが、お手元にある資料ご覧いただき、会費、例会費、財団寄付等があり、当期の収入合計として予算が36,817,420円で、決算として18,853,370円という結果になりました。残り増減が17,964,050円ということになってございます。

支出の部

続いて支出の部、小計のみご報告いたします。ロータリー組織関係で、428,340円、全国関係がロータリー財団寄付、米山記念奨学会寄付、ロータリーの友購読料合わせて1,385,625円です。

地区関係が、地区資金、地区事業資金、米山奨学会、地区大会登録料、地区大会晚餐会参加義務者負担金、名古屋市姉妹都市協力分担金、IAC年次大会登録料、R財団地区補助金を合わせた小計で2,229,695円、合計で4,043,660円です。

続いて例会費の支出ですが、例会費、クリスマス家族会、上期納会を含めまして、小計で8,155,623円です。

支出のIIに移ります。委員会活動費として、プログラム、会員増強、クラブ広報、社会奉仕・環境保全、青少年奉仕、ローター・アクト・インター・アクト、国際奉仕、ロータリー財団、米山奨学会、クラブ戦略を合わせた小計2,605,887円です。クラブ奉仕、ニコボックス、クラブ・ラーニング、会場、職業奉仕の活動費はありませんでした。詳細は資料の備考欄を参照ください。

管理費に入ります。賃借費、人件費、会議費、通信費、旅費交通費、事務消耗品費、印刷費、雑費を合わせまして5,601,636円となります。

当期支出合計が20,406,806円、当期収支差額が△1,553,436円、次期繰越収支差額が、16,075,835円となります。

貸借対照表

貸借対照表に入ります。資産の部ですが現金 98,006円、三菱UFJ普通預金、17,309,339円、三菱UFJ普通預金(米山)458,923円、貯蔵品、敷金(名錦ビル)、合わせて、資産合計が20,018,397円となります。三菱UFJ普通預金(ニコボックス)が12,797,547円、三菱UFJ定期預金(寄付金)1,000,000円、三菱UFJ普通預金(周年準備金)10,684,500円で総合計が44,500,444円となります。

負債及び資本の部ですが、未払金(カード)が、3,682,088円こちらはウェルカムパーティの瑞穂RC立替分、延平RC分等となっております。剩余金が、16,075,835円で負債及び資本合計が20,018,397円となります。

ニコボックス収支計算書

ニコボックス収入の部は、延平RCがお越しになられた際の費用含めまして、当期収入が2,009,290円となります。前期繰越収支差額が14,248,217円で、収入合計が16,257,507円となります。

支出の部です。当期支出合計が2,448,100円、当期収支差額が△438,810円で、次期繰越収支差額が13,809,407円となります。

地区補助金会計収支計算書

補助金関係の収支報告は、当期収入合計が445,295円で、支出の部合計が寄贈品、バーベキュー代、備品レンタル代、その他雑費合わせまして445,295円、差額は0円です。

監査報告：宮崎信次 監査

1月15日木曜日、名古屋瑞穂ロータリークラブ事務局にて、会計監査担当書面の通り上期の会計監査を実施いたしました。関係重複などを見て、適正に処理されていることをご確認いたしました。

例会のご案内

■今 週 2月4日（水）4RC合同例会

場 所：名古屋マリオットアソシアホテル
16F「アイリス」
時 間：18:00～20:00

■今 週 2月5日（木）は例会変更により休会

■次 週 2月12日（木）

場 所：ヒルトン名古屋 4F「竹園の間」
時 間：12:30～13:30
卓話者：（株）グリッターエイジェンシー代表取締役兼CEO
岡村徹也様
テーマ：「AI・ロボット時代における『人間の仕事』と
『人間の価値』～クリエイティブとコミュニケーションから読み解く"人間の強味"～」

2026~2027年度クラブ役員理事及び委員会構成表

会長	森 裕之	役員	クラブ奉仕委員長	近藤 茂弘	理事
副会長	湯澤 勇生	役員	職業奉仕委員長	岡部 光邦	理事
会長エレクト	山口 哲司	役員	社会奉仕委員長	花井芳太朗③	理事
直前会長	亀井 直人	役員	国際奉仕委員長	加藤 直大	理事
幹事	村上 学	役員	青少年奉仕委員長	杉江 建亮	理事
会計	本多 誠之	役員	会員増強・維持委員長	鳥山 政明	理事
S・A・A	大嶽 達郎	役員	親睦活動委員長	大和 直樹	理事
副幹事	星野 一郎		クラブ・ラーニング委員長	村瀬俊高③	理事
			会場委員長	北岡 寿人	理事
			R財団委員長	鈴木 健司	理事
			クラブ戦略委員長	関谷俊征②	理事

奉仕区分	委員会名	委員長	副委員長	委員
クラブ管理運営	クラブ奉仕	近藤 茂弘	北岡 寿人	福岡逸人、村瀬俊高、長野義明、大和直樹
	出席ニコボックス	福岡逸人	横山 請悟	広瀬弘幸、押村宣広、鈴木雄三、田中良知
	親睦活動	大和直樹	杉山 裕一	原田敬生、今川知也、水谷幸康、生川昌樹、荻野達朗、横山請悟
	プログラム	長野義明	広瀬弘幸	萩原孝則、今川知也、鈴木淑久
	クラブ・ラーニング	村瀬俊高③	松田 浩孝	長谷川隆、水谷学、田中宏
	会場	北岡 寿人	安井 友康	萩原孝則、花井芳太朗、村瀬俊高、落合徹哉、押村宣広
会員増強	会員増強及び維持	鳥山 政明	近藤 茂弘	泉憲一、長瀬憲八郎、内田久利
広報	広報	渡邊 将之	水谷 学	水谷幸康、小栗栄治、鈴木雄三
奉仕プロジェクト	職業奉仕	岡部 光邦	鈴木 雄三	長谷川隆、鈴木雅登、渡辺喜代彦
	社会奉仕環境奉仕	花井芳太朗③	内藤晶文②	岩田修司、松波恒彦、佐治寛行
	青少年奉仕RAC・IAC	杉江 建亮	(RAC) 生川昌樹 (IAC) 小栗栄治	天野正明、平野好道、伊藤豪、松田浩孝、森恒夫、内藤晶文、鈴木実
	国際奉仕	加藤 直大	落合徹哉 (延平班長)	市岡正蔵、櫛田篤弘、野崎洋二、田中宏、湯澤信雄
	R財団	鈴木 健司	田中 良知	稻葉徹、岩本成郎、宮崎信次
	米山奨学	新見 光治	荻野達朗	千秋季頼、鈴木実、鈴木伸一、田中英雄
クラブ戦略	クラブ戦略	関谷俊征② (行動計画推進リーダー)	堀 慎治 ②	大嶽達郎、杉江建亮、鈴木淑久、梅村昌孝
50周年特別委員会		関谷俊征	堀 慎治	本多誠之、加藤直大、村上学、新見光治、杉江建亮、鈴木淑久、田中宏、大和直樹

会計監査	宮崎 信次
第2760地区出向者	田中宏③(インターラクト)
日本ロータリー出向者	近藤雄亮(ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会(ロータリー希望の風奨学金)顧問)

○内の数字は委員就任年数

インパクトある活動と「世界をオープンに受け入れる」ことを国際ロータリー会長エレクトが強調



1月12日、米国フロリダ州オーランドで開催中の国際協議会でオラインカ H. ババロラ国際ロータリー会長エレクトが講演し、クラブでの歓迎的な環境づくり、意義あるプロジェクトの実施、人生を変えるようなロータリーでの体験を通じて、「持続可能なインパクトを生み出そう」と呼びかけました。

「ロータリーは私たちを変えました。私たちという人間を形づくり、より良い人間にしてくれたのです。私たちは“世界を変える”ことをよく話題にします。ポリオ根絶や平和構築について語ります。しかし、ロータリーが自分自身をどう変えたかについては、あまり考えません」

ナイジェリアのトランス・アマディ・ロータリークラブの会員であるババロラ氏は、十代のときにローターアクトクラブで活動したことが、恵まれた環境で育ったことによる狭い視野から抜け出し、より広い世界を見るきっかけになったと語りました。その気づきは、地域社会の人びとに読み書きを教える活動など、クラブが生み出したインパクトを目のあたりにしたことでもたらされました。

「ロータリー会員である私たちは、より良い未来というビジョンを共有しています」とババロラ氏。「そのビジョンを現実にするには、自身の内なる変化を意識し、解き放たなければなりません。成果だけでなく、インパクトを重視すべきです」

変化とインパクトは同じではない、と述べた上で、ババロラ氏はこう続けました。「変化は始まりに過ぎません。インパクトこそが永続するのです」

インパクトを理解する

ババロラ氏は、南アフリカ・ナイズナでの幼児教育の拡充や、ナイジェリアでの妊産婦ケアの改善など、ロータリー会員がインパクトを生み出していると述べました。ナイズナ・ロータリークラブは、地域の女性たちが幼児教育センターを開設・運営できるよう支援しました。

「このプロジェクトは何千もの子どもと家庭に恩恵をもたらし、今後何世代にもわたって教育を提供し続けるでしょう」とババロラ氏。「このインパクトを世界のほかの地域でも再現できれば、地域社会から信頼と評価を得ることができます。そして、より多くの地域社会がロータリーを信頼すれば、入会したいという人が増えます」

また、「ナイジェリアにおける健康な家族のための協力」の幅広いインパクトにも触れました。妊産婦と新生児の死亡率を減らすこのイニシアチブは、2022年に200万米ドルの大規模プログラム補助金を受領しました。

ババロラ氏はこう説明します。「ロータリーが介入する前は、多くの女性が妊婦健診を避けていました。しかし、健診は母子ともに安全な出産に欠かせません。ロータリーの支援により、妊婦が健診に通うシステムが整い、地域社会からの協力も得られました。受診率がアップし、死亡率が下がりました。このプロジェクトは今後数十年にわたり、ナイジェリア全土で命を救い続けるでしょう」

より歓迎的な姿勢を

クラブの新しい入会者に対してよりオープンに歓迎するよう呼びかけたババロラ氏は、ローターアクト時代にロータリークラブに入りたいと思ったものの、クラブ会長から冷たい対応を受けた自身の経験について語りました。

「彼（クラブ会長）はこう言いました。“何という厚かましさだ！ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ”、と」とババロラ氏は振り返ります。「そこであきらめることもできましたが、私はこう言い返しました。“子どもが親の家に入るのに招待が必要だとは知りませんでした”」

当時と比べれば良くなったものの、まだ十分ではないとババロラ氏。一部のクラブは世界をオープンに受け入れるどころか、閉ざされたままであり、若い人たちが尊重されず、考え方や背景が異なる人が歓迎されないこともあると述べ、人びとをよりよく受け入れるにはどうしたらよいかを考えよう促しました。

「例会や奉仕プロジェクトでの皆さんの態度ひとつで、誰かのロータリーのストーリーが始まるかもしれないし、終わるかもしれないのです」

さらに、自身の変化を促すもう一つの方法は、自分のベストを超えることだと述べました。過去の募金活動やプロジェクト、会員増強の成功を振り返り、それを超えるべくさらに挑戦するよう地区リーダーに呼びかけました。

「自分を変えられれば、クラブと地区を変えられます。地区を変えられれば、地域社会を変えられます。そして、地域社会を変えられれば、世界で、地域社会で、自分自身の中で、持続可能なインパクトを生み出すことができるのです」